

施設一体型小中一貫教育校

京北地域小中一貫教育校（仮称）

2020年4月開校（予定）



<南西からの鳥瞰図（イメージ）>

4-3-2年制（3ステージ）の カリキュラムが拓く「新しい学び」

夢の実現
判断・行動

3rd ステージ

世界・可能性を
ひろげる

2nd ステージ

学び・生活の
基礎基本

1st ステージ



学校案内（第1版）

2020年4月、新たに小中一貫教育校としてスタートします！

京北地域小中一貫教育校（仮称）は、「雄大な自然と伝統を有する京北地域に、未来を担う子どもたちをより良く育むために教育環境をより充実させてほしい」との地域・保護者・学校関係者の願いと協力に支えられ、京北第一小学校・京北第二小学校・京北第三小学校・周山中学校の4校が2020年4月に統合し、9年間の学びと育ちのつながりをつなげた新しい施設一体型の小中一貫教育校として誕生します。

4-3-2 制の9年間「施設一体型小中一貫教育校」

これまでの小学校6年間と中学校3年間のそれぞれ独立した学校から、「小中一貫教育校」として一人の校長のもとで9年間を通して小中学生がともに学ぶ、新しい施設一体型小中一貫教育校になります。また、これまでの小中4校における小中一貫教育の取組を礎に「仲間がつながる・学びをつなぐ」教育実践をより充実したものとしていきます。

「つなぐ・つながる」伝統と創造で充実する小中一貫教育

京北地域での小中一貫教育校のねらい

● ふるさと京北を愛し、誇りに思う心情や態度の育成

京北地域の特色を生かした学習や地域と連携した学習内容をより豊かにし、「ふるさと京北」に対する愛着や誇りを高め、京北地域の地域づくりにつながる郷土愛の高揚を図ります。

● 9年間の連続した学びに支えられた学力・学習意欲の向上

高度な技術革新とグローバル化が進展する未来社会に対応できる資質・能力を育み伸長するため、連続性と系統性のある教育活動を行い、主体的・対話的な学びを充実させながら、子どもの学力や学習意欲の向上を図ります。

● 自らの心身の健康を育む意識と体力の向上

地域や関係団体とのこれまでのつながりをより強めながら、体育・スポーツ活動や食に関する指導等を充実し、9年間を通して心と体の健康に対する意識を高め、発達段階に応じた体力の向上につなげます。

● 豊かな人間性、市民性の育成

人権尊重を学校づくりの基盤に据え、様々な人々との交流で、キャリア教育・道徳教育の充実を図ることを通して、豊かな人間性と市民性を育むことを目指します。



学校と地域をつなぐ、自然と伝統と子どもがつながる

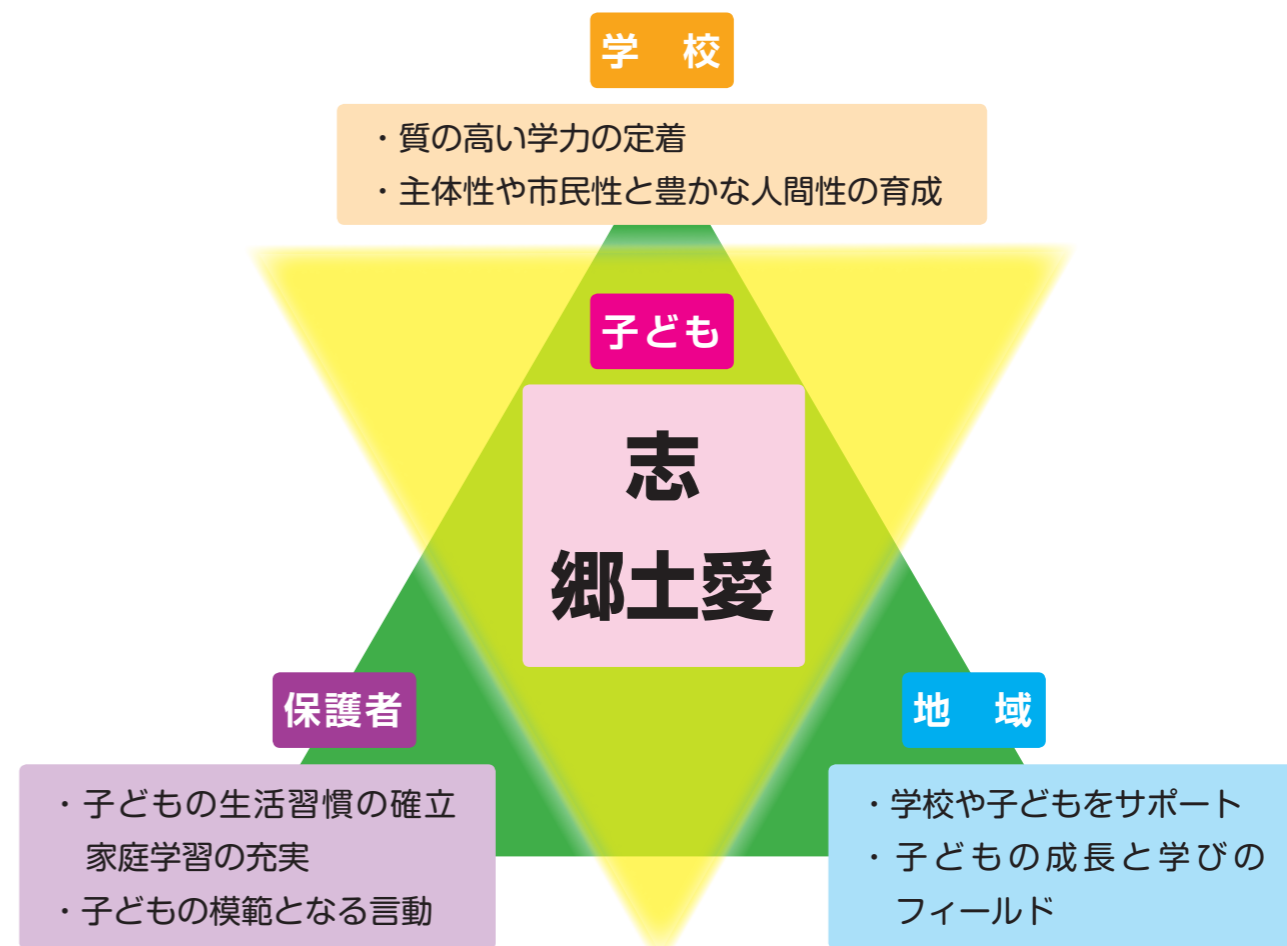
～ 京北地域小中一貫教育校（仮称）で大きく育ち、志を高くもつ京北の子ども ～

「京北第一・京北第二・京北第三小学校を統合し、周山中学校と合わせて、2020年4月を目途に、全国に誇るべき小中一貫教育校を創設していただきたい」という学校統合に係る地元要望書に込められた願いの下、「つなぐ・つながる」をキーワードとし、「学校・子ども・保護者・地域等がしっかりとつながり、より良く育つ」ことをコンセプトとして新しい学校づくりを進めています。

また、子どもたちの可能性と個性を伸ばす学校としていくためには、学校・子ども・保護者・地域等がそれぞれの担っている役割をしっかりと自覚し、目的を共有しながら協働することが必要となります。

「京北地域から郷土愛を基盤とし、グローバル社会を切り拓き未来を担う」という目的を保護者・地域の皆様と共有しながら、ともに取り組んでいきます。

- 学校 ▶ ・質の高い学力の定着 ・主体性や市民性と豊かな人間性の育成
- 子ども ▶ ・「志」と「自他を大切にできる態度」の育成 ・郷土愛の醸成
- 保護者 ▶ ・子どもの生活習慣の確立と家庭学習の充実 ・子どもの模範となる言動
- 地域 ▶ ・学校や子どもをサポート ・子どもの成長と学びのフィールド



京北地域小中一貫教育校(仮称) 教育方針

教育理念 「高い志を抱き、未来のつくり手となる子どもの育成」

子どもたちが生きるこれからの社会は、新しい知識・情報・技術が、社会のあらゆる領域での活動の基盤としてこれまで以上に重要となり、その変化は加速度を増しています。また、IT技術やグローバル化の進展等によって、一つの出来事が広範囲かつ複雑に伝わり、社会の変化を予測することは益々難しくなっています。

このような社会像を踏まえ、未来を担う子どもに育むべき資質・能力とは、単に変化に適応するのみならず、自らが自立して主体的に社会に関わり、人間ならではの新たな価値を創造し、人の幸福と社会の発展に寄与する人間として成長するための基盤となるものでないと思えます。

また、そのために果たす学校教育の役割を、日本と故郷の伝統と文化を継承しつつ、予測し難い状況の中で問題の核心を把握し、自ら問いを立ててその解決を目指し、多様な人々と協働しながら、様々な知識・情報・技術を組み合わせることで解決に導いていく力を育むことにあります。

そこで、校訓として「自律・貢献・創造」を掲げています。

校訓

自律

他者への思いやり、人との絆の大切さを実感しながら、自らの生活や人生をより良くするため、正しい判断とそれに基づく行動ができる。

貢献

協働を視野に入れ、自分が身に付けた資質・能力を他者のために役立てることで、社会貢献・地域貢献ができる。

創造

人間ならではの感性や創造性を発揮するとともに、自らの可能性を信じ、どんな社会でも豊かに生きていける。

学校教育目標

ふるさとの伝統と文化を受け継ぎ、未来のために大いに学び育ち、自らの志を高めることができる
～言語能力と地域創生力を伸ばす～

【言語能力】

言語は、全ての教科等における資質・能力の育成や学習の基盤として重要な役割を果たします。また、言語能力の向上は、学校における学びの質の向上に大きく関わります。

発達に応じて、各教科等の文脈の中で身に付けていく力と、教科横断的に身に付けていく力とを相互に関連付けながら育成していきます。

【地域創生力】

地域社会における産業の役割や環境条件等を理解し、地域創生のために生かす力で、問題発見・解決能力の育成につながります。

地域の特色を理解し、地域の課題を考え、解決に向けた取組と地域の価値の創造に関する知識・教養、それに地域創生に必要な基礎的知識や技能を身に付け、教科や領域等で得た知識を、地域創生や地域振興につなげ、実践力へと高めます。

地域創生や地域活性化の方策について、多角的・多面的に考察し、体験活動やフィールドワーク等を通して、地域の潜在的価値等を見つけ出します。そして、他者の意見を取り入れ、自らの考えを的確に表現・伝達できる能力を身に付けます。

地域社会において地域創生や地域振興に主体的に取り組もうとする意欲と、自身の役割を自覚し、課題に取り組み、地域創生に応えようとする意欲や行動力を身に付けます。さらに、他者と共に目標を達成することの意義を理解し、コミュニケーションを通じて相互理解や合意形成を実現しようとしています。

教育目標の一貫性

ふるさとの伝統と文化を受け継ぎ、未来のために大いに学び育ち、自らの志を高めることができる

学習内容の系統性

9年間を見通した効果的で特色あるカリキュラムの編成

- 9年
- 8年
- 7年
- 6年
- 5年
- 4年
- 3年
- 2年
- 1年

ふるさとへの心情や態度

学力・学習意欲の向上

心身の健康と体力の向上

豊かな人間性、市民性

学習指導の継続性

豊かな自然と誇れる伝統・文化にあふれる地域

子ども理解の一貫性

4-3-2制のステージ制による9年間の特色

9年間を通して全教職員が、子どもたち一人ひとりの発達に配慮し、連続性と系統性を意識しながら、子どもたちの「学び」と「育ち」を充実させていきます。

9年間の学びと育ちをしっかりとつなぐため、子どもの発育・発達状況に応じた系統的な教育活動を行います。そのため、子どもの発達を考慮した「4-3-2」のステージ制を導入し、きめ細やかな指導の充実を図ります。

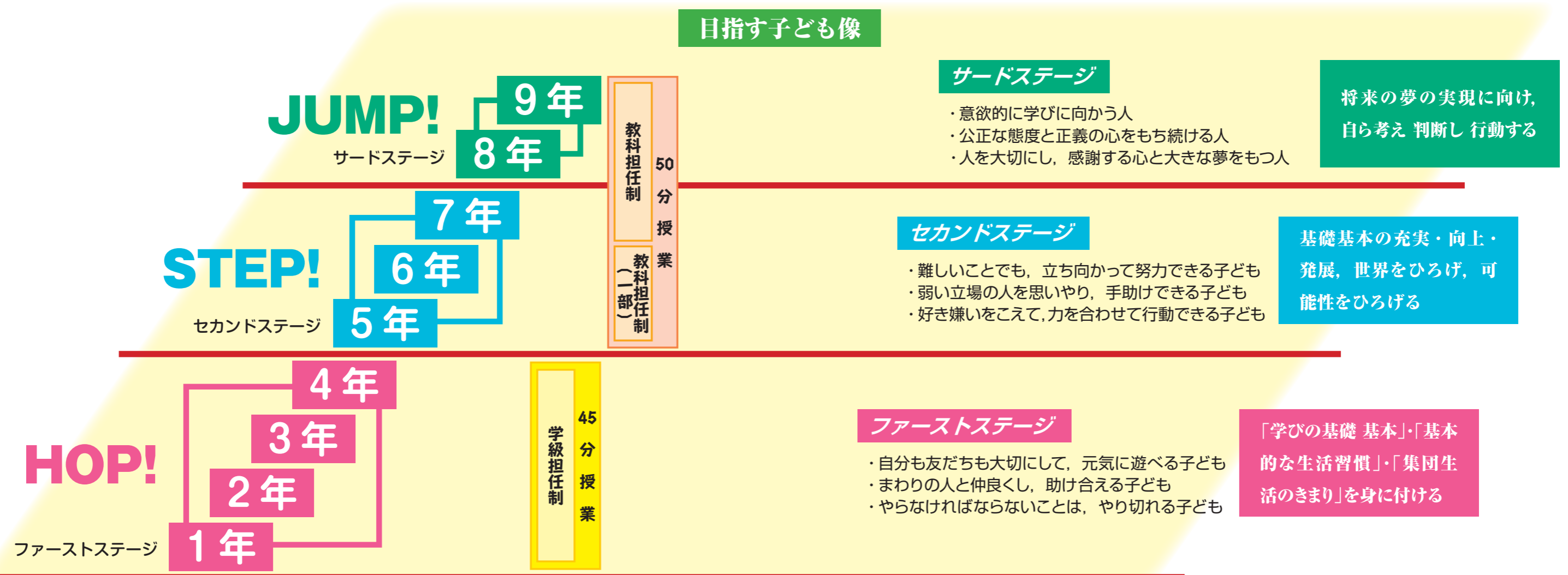
※**ファーストステージ（1年生～4年生）**では、学級担任制を基本として学びの基礎を培います。

※**セカンドステージ（5年生～7年生）**から、50分授業の導入と一部教科担任制を導入し、協働的な学びを通して、活用力を高めます。（7年生は教科担任制）

※**サードステージ（8年生・9年生）**では、一人ひとりの可能性を伸ばし、創造的に個々の未来を拓く力の育成を目指します。

9年間の新たなシステム 4-3-2制

目指す子ども像



京北地域小中一貫教育校 (仮称)の教師像

- 1 学校力向上のため、全ての教職員の相互理解を深め、互いに高め合う関係の中で、連続性と系統性のある指導や支援を行います。
- 2 一人ひとりの子どもを徹底的に大切にします。
- 3 質の高い学力の伸長を目指し、常に指導力の向上に努めます。
- 4 望ましい人間関係を作り、いじめ見逃しゼロ・不登校等への早期対応を徹底します。

京北地域小中一貫教育校 (仮称) 特色ある教育

9年間を通じた地域学習の実施

- 地域の魅力を知り地域に誇りをもって、社会の発展につながる「地域創生力」を育成します。また、この活動を通して、問題解決力を伸長します。

困りを抱える子どもに対する支援

- 義務教育期間を見通した総合育成支援教育を進めるとともに、さまざまな困りを抱える子どもの個々に応じた学びを支えます。

保育所・北桑田高校等との連携

- 北桑田高校との授業連携や合同部活動等の実施、保育所との就学前からの交流促進など、京北にある教育機関等との一層の連携を重視し、子どもたちが、京北で学び続けたいと思う、教育効果の高い取組を実施します。

標準服の着用

- 成長を考え、ファーストステージ（1年生～4年生）は、私服を着用し、セカンドステージ（5年生）から標準服を着用します。標準服を着ることで、上級生としての自覚と学校の中核となっていく意識をもたせます。

つながりを生かすピアサポート

- 9年生までの異年齢集団による縦割活動や他者を支える活動を通して、下級生には、「安心感」や「あこがれ」を持たせ、上級生には、人に役立つことを実感させて「自己有用感」を育むとともに、自分を大切に思える「自尊感情」を高めます。

ICT機器等の活用とプログラミング教育の充実

- ICT機器の活用を通して子どもが主体的に学ぶことができるアクティブラーニングの充実を図ります。
- ロボット Pepper を活用して、プログラミングへの興味・関心を高め、充実したものとしていきます。

カリキュラム室の導入

- 各教科・領域等の指導内容や資料と改善点等を蓄積していきます。教職員は、このデータを活用することで、より充実した授業の実践につなげます。

英語教育の充実

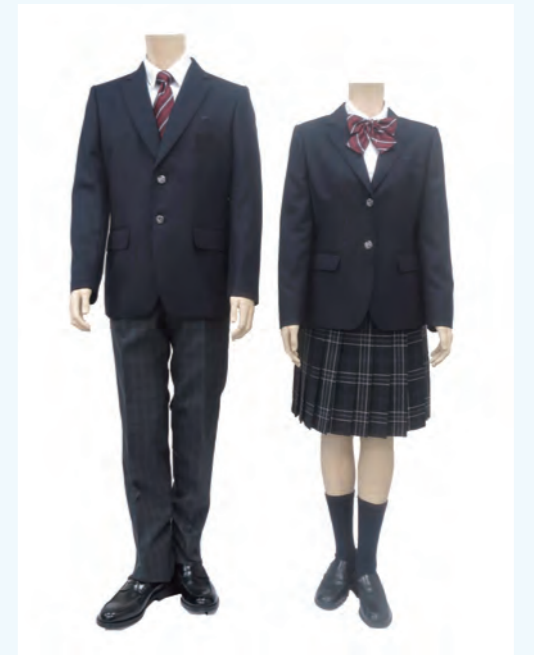
- 1年生から英語教育に取り組みます。
- 英語で自己表現できるコミュニケーション力を高めます。
- 実践的コミュニケーション力を身に付けるため、英語圏の学校との交流を促進します。

市民性を育てる教育を充実

- 市民としての資質・能力を育成します。他人を尊重すること、個人の権利と責任、歴史・宗教・文化の多様性と価値など、世界の人々と協力するために必要な能力を身に付けます。

自校調理給食の導入

- 学校給食は1年生から9年生まで、全員が自校調理給食となります。京北米を使うなど地産地消で実施し、食教育の充実につなげます。



施設の主な特徴



<南西方向からの外観図> (イメージ)



<南側正面からの外観図> (イメージ)

- 丘陵地の景観と一体となった外観デザインとすることで、京北の町並みへの調和を図ります
- 普通教室はすべて南面に配置し、明るく開放的な学習環境を確保します



<東側からの外観図> (イメージ)

- 開校後、校舎東側には、多様な教育活動を行うことができるサブグラウンドを整備します



<昇降口付近> (イメージ)



<昇降口～図書室(メディアセンター)> (イメージ)

- 図書室(メディアセンター)は地域開放を想定して昇降口付近に配置し、また、内外装には各所に木材を利用し、ぬくもりを感じられる空間とします
- 昇降口や図書室上部は、木柱に包まれるような吹抜け空間を構成しており、2階にそれらを囲むように廊下を配置することで、児童・生徒の回遊性を高めています



<普通教室(2F)> (イメージ)



<体育館> (イメージ)

- 柱、梁、床を鉄筋コンクリート造とすることで「堅牢さ」を確保しながら屋根を木構造の現しとすることで、木のぬくもりのある空間とします



<ランチルーム> (イメージ)



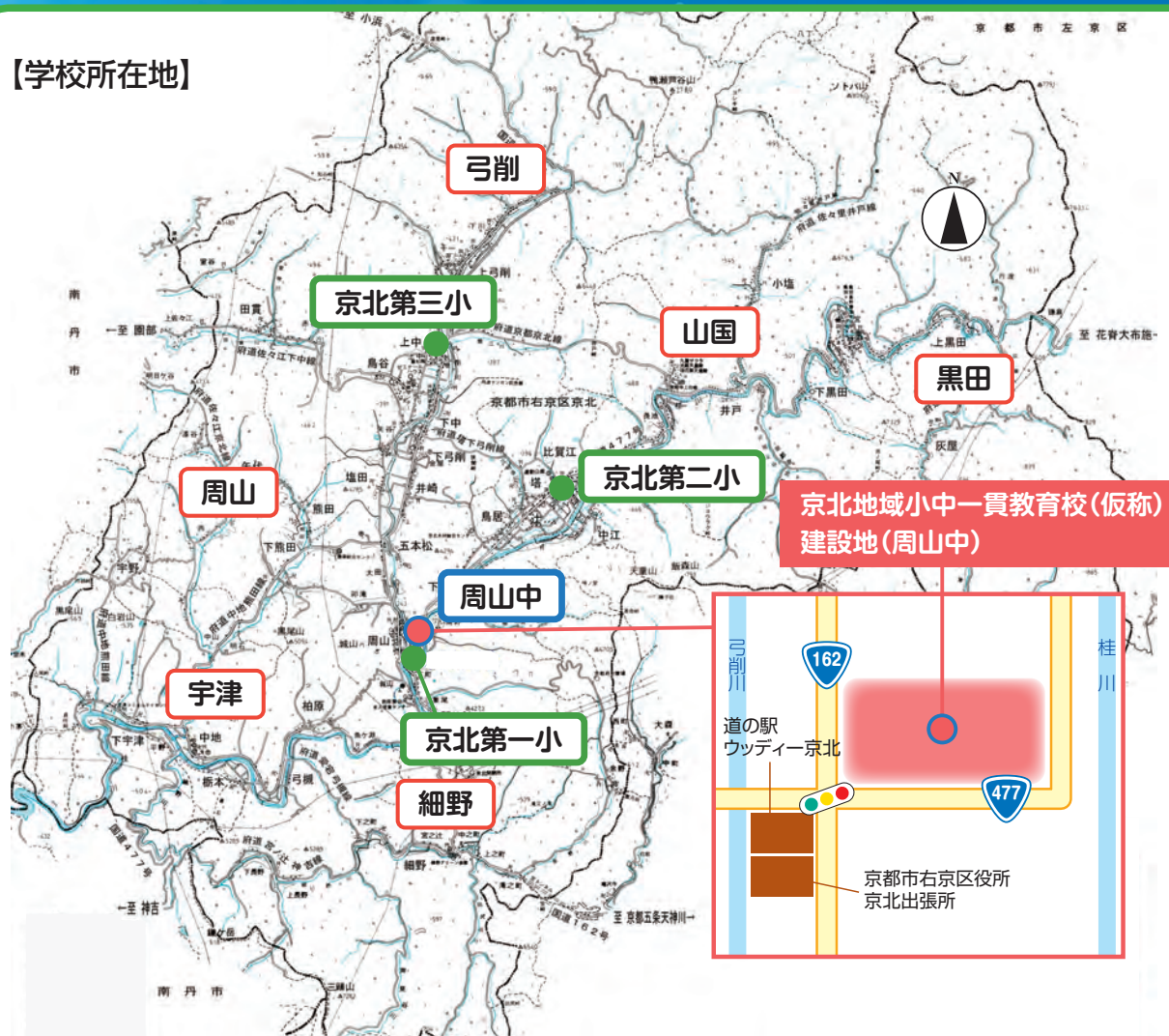
<交流スペース> (イメージ)

- 1階に全学年が一堂に会するランチルームを配置します
- 開放的な交流スペースからは京北のまちを見渡すことができます

- 木質ペレットを燃料とした冷暖房設備や太陽光発電等の採用など自然エネルギーを積極的に活用します
- 落雪や氷柱の発生を防止するため、屋根はゆるやかな勾配とし、雪止めを設置します。また、1.5m以上の庇を設け、積雪時に児童・生徒等が安全に歩ける通路を確保します

※掲載している完成予想図は全て設計図を基に描き起こしたものであり、実際とは異なる場合があります

【学校所在地】



京北地域小中一貫教育校（仮称）学校案内 <第1版>

この学校案内は、現時点（平成31年1月現在）で検討している教育内容に基づき作成しています。

- 京北第一小学校 TEL 852-0026 FAX 852-1600 e-mail keihoku1-s@edu.city.kyoto.jp
- 京北第二小学校 TEL 853-0002 FAX 853-7100 e-mail keihoku2-s@edu.city.kyoto.jp
- 京北第三小学校 TEL 854-0244 FAX 854-0256 e-mail keihoku3-s@edu.city.kyoto.jp
- 周山中学校 TEL 852-0053 FAX 852-0090 e-mail shuzan-c@edu.city.kyoto.jp

京北地域小中一貫教育校（仮称）の開校準備状況は、教育委員会のホームページをご覧ください。
<http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/page/0000204524.html>

発行 平成31年1月

京都市教育委員会 京北地域小中一貫教育校教育企画推進室